

TAKATSUKI

★ 農委だより

第118号
令和7年9月

編集・発行
高槻市農業委員会
〒569-8501
大阪府高槻市桃園町2番1号
TEL 072-674-7421

<http://www.city.takatsuki.osaka.jp/>

有害鳥獣等特別対策本部を設置

近年シカ、イノシシ、アライグマなど

有害鳥獣による農作物の被害が深刻になっ

ているとして、有害鳥獣被害対策を強化

すること、農

業者の安心感、

猟友会など関係

機関との連帯感を高め、各主体のより一

層の活動を促すため、令和7年7月4日、

原公民館で有害鳥獣等特別対策本部の発

足式を開催しました。

開催にあたり、本部長である濱田市長

をはじめ、市農業委員会、大阪府猟友会

高槻市部、高槻市農業協同

組合、実行組合協議会のほ

か、多くの農業者が参加し

ました。

本市のシカの推定生息密度は、近隣自

治体と比べても高く、生息密度の増加に

合わせ、市内で生産され

た米や野菜が食い荒らさ

れる農業の被害も深刻化

しています。また、令和

6年度のシカとアライグ

マの捕獲頭数が過去最高

となるなど動物の行動範

囲が人里まで徐々に広がっ

ています。

発足式では、市農林緑

政課による高槻市の鳥獣

被害の現状や、シカ・イ

ノシシ捕獲や防護柵設置

への補助拡充など有害鳥

獣被害の対策強化に向け

た取組内容の説明が行わ

れたほか、猟友会などの

発足式の様子

右から藤井博 農業委員会副会長、森本茂 農業協同組合代表理事組合長兼農業委員会会長、濱田剛史 市長、大江章仁 府猟友会高槻市部長、田中清 実行組合協議会会長

発足式では、市農林緑政課による高槻市の鳥獣被害の現状や、シカ・イノシシ捕獲や防護柵設置への補助拡充など有害鳥獣被害の対策強化に向けた取組内容の説明が行われたほか、猟友会などの



発足式で挨拶する森本会長



発足式で挨拶する濱田市長

協力により、実際に猟に同行している猟犬の紹介や、大形の箱ワナの仕掛け方、電気柵の有効な設置方法と適切な管理方法の実演が行われました

遊休農地の発生防止・解消に向けた新たな取り組み

令和6年度の利用状況調査結果では、遊休農地の面積は市全体では、令和5年度と比較して約1ヘクタールの減少となりました。

昨年度の新たな取組みとして「高槻市農林業基本計画」の指標にも位置付けられる「新規参入者数の増加」と「遊休農地の解消」を同時に進めていく試みの中で、新規就農希望者と遊休農地の活用の可能性を研究、また同時に、既存農業者にも遊休農地の活用についても積極的に働きかけを行いました。

また、その際には市が用意する「遊休農地対策補助金」を積極的に活用することで、遊休農地で就農する

年度	面積(m ²)
令和5年度	90,303.00
令和6年度	80,584.78
増減	▲9,718.22

令和5年度と6年度の利用状況調査結果

方に対して少しでも後押し、応援ができるよう制度の活用を実施しています。結果として、遊休農地（遊休農地予備軍も含む農地）11筆約1ヘクタールの農地を新規就農者並びに既存農業者により新たに貸借が行われています。今後は、この方たちに対するフォローアップを農業委員会や市で実施していくこととなります。



Before



After

遊休化し草木が繁茂した農地（左）が新規就農者により解消され、イチゴ農園として整備が進む（右）

お知らせ

令和7年度農林業祭は

11月16日（日）

第3日曜日に開催します。

場所：史跡鳴上郡衙跡

(農林業祭実行委員会事務局：☎072-674-7402)

全国農業新聞

農業・農村・農政の動きをタイムリーにお届け
経営とくらしに役立つ農業総合専門紙を読んでみませんか

購読料：1か月700円
発行元：全国農業会議所
発行日：毎週金曜日
申込先：農業委員会事務局
問合せ：☎072-674-7421

Photo



News

夏の安満朝市（マルシェ） 安満遺跡公園で開催

7月12日と8月30日に安満遺跡公園で安満朝市（マルシェ）が開催されました。

この催しは、市内各地で地元農産物を販売している農業振興団体協議会が主催し、新鮮な野菜や花などを販売しています。

当日は多くの農家の方が出店し、開始前から多くの方が訪れるなど、にぎわいを見せました。



安満朝市（マルシェ）の様子

農業者年金に 加入しませんか

60歳未満の国民年金第1号被保険者で年間60日以上農業に従事する方なら農業者年金に加入できます。

農業者年金 メリットの一部を紹介

- 積み立て方式で安心です。
- 加入・脱退・再加入も自由にできます。
- 保険料は全額社会保険料控除となります。

小学生たちが学習田で田植え

市内の小生たちが総合的な学習として、5月から6月にかけて各地で田植えを行いました。

この取組みは、春には田植え、秋には稲刈りなどを子どもたちが体験することにより、農業や自然環境の保全の重要性を身近に感じてもらうために行っているもので、地元実行組合をはじめ、多くの農業者の方々の協力により成り立っています。



田植えの指導をする委員

はっとりしろろう 服部越瓜品評会の開催

7月17日にJAたかつき清水支店で服部越瓜の品評会が開催されました。

服部越瓜は高槻市の塚脇、宮之川原、浦堂を中心に古くから栽培され、「なにわの伝統野菜」にも認証されている野菜です。主に粕漬けなどに利用されています。

当日は10品が出品され、優秀賞には森本秀次さん、優良賞には岡山門也さんと宮谷廣臣さんがそれぞれ選ばれました。



品評会の様子